

【さわ研トレーニング用紙 活用方法】～赤本～

■ポイント

- ・ 93回～110回国試までの過去18年分を解き、実施した月日と得点を記入していきます。
8月までに「3周解くこと」と「必修過去問の正答率は90%超えること」を目標にしてください。93回～109回までの過去問題はさわ研のホームページからダウンロードできます。110回は赤本2022年版に掲載されています。
※過去問題の統計や正答番号は当時のままとなっているのでご注意ください。

《必修勉強方法》

- ・ 720問全問を解きます（1分間で2問の割合で解くと6時間ほどで終わります）。
- ・ 解く際に、問題ごとに【O△×】（下記説明参照）を付け、「O」を付けて「正解」した問題を除き、△と×の問題に付箋を貼っていきます。
- ・ 2週間以内に△と×の問題を復習しましょう。
再度解くときにもO△×をつけ、「O」で「正解」した問題の付箋をはがしていきます。
- ・ また赤本のI章～IV章には項目ごとに過去問題が出題されています。必ずそちらの問題も解くようにしましょう！

□1周目

O△×の欄に、O・△・×を記入し、答えを記入します。※下記図参照

- O…自信あり、根拠あり
- △…あいまい
- ×…全然わからない

△・×の問題への取り組み
まずは赤本を読み込みます。
そして「どこがわからない」のかをはっきりさせましょう！

□2・3周目以降

1周目同様、全問に取り組む。

→3周目で△、×の問題＝自身の弱点、苦手問題！

1周目		
第○回・必修		
	答え	O△×
問題1	3	○
問題2	3	△
問題3	2	×
問題4	3	△
問題5	1	×

2周目		
第○回・必修		
	答え	O△×
問題1	3	○
問題2	3	○
問題3	4	○
問題4	4	△
問題5	1	×

3周目		
第○回・必修		
	答え	O△×
問題1	3	○
問題2	3	○
問題3	4	○
問題4	2	△
問題5	2	△

2・3周やっても△×＝苦手問題

復習する際は選択肢1つ1つの根拠と周辺知識を必ず押さえましょう！